

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号  
電話 03-5744-1474(直通) ホームページ <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



「スクスクのびのび」【場所】久が原ハーモニー保育園

## 「おおた未来プラン10年」の事業費など

## 7億813万円を増額

### 一般会計補正予算（第1次）を可決

大田区議会は、平成21年第2回定例会を6月5日から16日までの12日間の会期で開きました。区長あいさつの後、本会議第1日及び第2日にかけて、5名の議員が会派を代表して質問を行いました。続いて11名の議員が一般質問を行いました。（2）5面に要旨を掲載）この定例会には、平成21年度一般会計補正予算（第1次）のほか、大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例をはじめと

する条例案4件、工事請負契約9件、特別区道路線の認定1件、損害賠償額の決定1件、報告議案8件が提出され、審議の結果すべて原案どおり可決しました。（6面に定例会で決まった議案を掲載）請願・陳情は関係委員会で審査した結果、採択2件、不採択8件、そのほかは継続審査となりました。（6面に請願・陳情の結果を掲載）

#### ◇第2回定例会の内容◇

6月5日 本会議 第1日

（代表質問）

8日 本会議 第2日

（代表質問、一般質問、議案の付託）

9日 常任委員会

（総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教）

10日 常任委員会

（総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教）

11日 議会運営委員会

12日 特別委員会

（開発・観光対策、交通問題調査、羽田空港対策、防災・安全対策）

16日 本会議 第3日

（議案の採決等）

#### 議員表彰

全国市議会議長会

永年にわたる区政発展の功績により、平成21年5月27日、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

#### 特別表彰

- ・ 議員在職30年以上  
永井敬臣議員

#### 一般表彰

- ・ 議員在職10年以上  
高瀬三徳議員、松原秀典議員、山崎勝広議員、犬伏秀一議員、菅谷郁恵議員、和田正子議員

#### 主な掲載内容

- 区政をきく・・・2～5面  
（代表質問・一般質問）
- 区長あいさつ・・・5面
- 定例会で決まった議案・・・6面
- 請願・陳情の結果・・・6面
- 特別委員会中間報告・・・7面
- 議場の略図と議席・・・8面
- 第9回  
平和祈念コンサート・・・8面

#### 第3回定例会の予定

9月

16日 本会議（第1日）

17日 本会議（第2日）

18日 常任委員会

24日 常任委員会

25日 議会運営委員会

28日 特別委員会

30日 本会議（第3日）

10月

1日 委員会

2日

5日

6日

7日

8日

9日

14日 本会議（第4日）

決算特別委員会

○第3回定例会に付託予定の請願・陳情の締め切りは、

第1次分が9月9日（水）

第2次分が9月16日（水）

の予定です。



# 区政をきく

## 代表質問

地域力をいかし安心な区民生活の実現を！

大田区議会公明党 清波 貞子

△中小企業支援▽

●新製品・新技術開発支援  
事業の応募件数及び内容を  
伺う。

●応募件数は41件で20年か  
ら倍増した。例年以上に技  
術レベルが高く、審査の結  
果、10件を助成対象とした。

●経済産業省の技術開発補  
助金制度は、区として積極  
的に活用すべき。

●経済産業省の担当を招き  
説明会を開催した結果、85  
社の参加をいただいた。今  
後とも迅速かつ適切な情報  
提供を行う。

△定額給付金▽

●区内商品券の売行きは期  
待どおりであったか。

●4月22日に発売を開始し、  
5月18日で完売となりご好  
評をいただいた。商店街に  
新たな顧客が増えることを  
期待する。

●商品券の効果を受けた今



大森赤十字病院

●女性の健康づくりの視点  
から検討し、「健康大田  
21」の一環として講演会を  
行いたい。

●地域の中核病院として大  
森赤十字病院に対する乳が  
ん検診の充実、女性専門外  
来の拡充、高齢者のための  
療養病床の確保が強く求め  
られている。区長の見解は、

●今日に至るまで要望して  
きた。引続いて要望してい  
きたいと考えている。

△保育園の施設整備▽

●区が入手した佐伯山の土  
地に保育園を建設しては、

●土地の有効利用にあたり、  
地元との十分なコンセンサ  
スが得られるよう、計画を  
進める。

●待機児解消に向けた区の  
計画について伺う。

●5月末に設置した対策本  
部で具体的な対策の検討に  
努める。

●事業所内保育所の設置費  
用補助の計画について伺う。

●都補助の活用を含め、開  
設促進されるよう支援策を  
検討する。

●認証保育所の整備計画は  
待機児解消に向け計画を前  
倒ししてでも、早急に実施  
すべき。

●21年度は3か所開設し、  
75名の定員増を予定してい  
る。平成25年度までに8か  
所開設を計画しているが、  
可能な限り前倒しで誘致で  
きるよう取組みを進める。

△公園の実態とあり方▽

●新規事業として介護遊具  
を公園に設置するとあるが、  
今後の展開は、



小池公園

●基本計画で健康遊具の設  
置を24年度まで年1か所の  
ペースで設置予定である。

△公園トイレに管理カド  
をつけ、いつ誰が清掃した  
かわかるようにしては、

●利用者の多いトイレや  
「だれでもトイレ」に、清  
掃時刻等を示す方法を検討  
する。

●公園のトイレは「だれで  
もトイレ」にしていくべき  
では、

●25年度までに、18か所の  
トイレを「だれでもトイレ  
」に改修する。

●犬や猫の侵入防止の防護  
ネットに使用方法を記した  
看板などを設置しては、

●利用者と相談しながら、  
必要箇所にわかりやすいた  
て看板を設置する。

●バリアフリーを中心に遊  
具等のリニューアルを計画  
的にすべき。

●基本計画に「魅力ある公  
園のリニューアル」を盛り込  
み、安心・安全対策、魅力ア  
ップ、ユニバーサル化をコン  
セプトに整備を進める。

未来に残そう「いいまち大田」をめざし

大田区議会自民党 大森 昭彦

△基本構想について▽

●高齢者就労支援について  
の具体策を伺う。

●就労支援センターの開設  
を計画しており、具体的な  
機能は調査・検討中である。  
●厳しい状況下の50代以上  
の再就職や優れた技能者確  
保維持の具体的な対応は、

●都しごとセンター等と連  
携し情報提供を行う。高度  
技能者の活用策は検討する。  
●まちづくりの将来▽

●蒲蒲線導入の積極的な推  
進の意思表示を示しては、

●19、20年度に国、都、私  
鉄と協力し検討を行い最終  
調整中。検討結果を踏まえ  
早期実現に向け取組む。

●大森駅東口は、どのよう  
に発展的なまちとするのか。

●地域の活性化、にぎわい  
の創出というコンセプトで、  
大森北一丁目開発を進めて  
いる。

●蒲田をどのようなまちと  
し、いつ頃までにグラント  
デザインを具体化するのか。

●空港と隣接し、交通結節  
機能を持ったにぎわいのま  
ちとしたい。グラントデザ  
インは21年度中にまとめる。  
●蒲田は看板が目立つ等駅  
前の景観は心地良いとは言  
い難い。景観条例策定の考  
えを問題点と併せて伺う。

●条例策定を視野に入れ調  
査・研究している。計画に  
個別建築物の規定を盛り込  
むことは、私権の制限を伴う  
ため、地域住民や関係者等  
の合意形成が重要である。  
●外国人が多数訪問し、住  
み、働く国際的なまちづく  
りのイメージとは、



大田区役所本庁舎1階

をどう把握されているのか。  
●基本計画で高付加価値を  
生み出す産業の集積地とし  
ての発展をうたっている。  
●独自の産業のイメージと  
は何か。

●機械・金属加工中心の技  
術・技能の集積を活かし、  
環境、医療福祉等へ対応可  
能なもののづくり産業である。  
△区民サービスの向上▽

●本庁舎の窓口再配置では、  
事務処理の改善と混雑の緩  
和があった。区長の感想は、

●現場の担当者から苦情が  
減ったという報告を受け、  
大変嬉しい。一層の利便  
性・快適性の確保に努める。  
●部局の再編を行ったが、  
そのねらいは、

●基本構想の着実な実現で  
ある。また複雑化した本庁  
と地域行政組織を明確な指  
揮命令系統に再編し、組織  
名称も分かりやすくした。  
●区民の新たな区政参画制  
度の導入とは、

△組織改正と人事▽

●基本計画実行のための組  
織改正、新人事の成果は、  
●生活保護申請急増に対し、  
生活福祉担当部長を置き、  
迅速、的確に対応する。ま  
た新型インフルエンザに対  
し、保健予防担当課長を設  
置し専門的視点で対応する。

●20年度に比べて、管理  
職数が増えている。計画実  
行のために不足なのか。  
●事業の確実な実施を担保  
する必要性から、管理職ポ

未来ある大田のため一歩踏み出す区政運営を

自由民主党大田区議団 水井 達興

●基本目標にある「生涯を  
健やかに安心していきいき  
と暮らせるまち」への意気  
込みを伺う。  
●子ども、暮らし、高齢者  
の各分野の施策を着実に進  
め、目標の実現につなげる。



JR蒲田駅東口側



JR大森駅東口側

スト数増となっている。  
●適正化計画以来固定経費  
を抑えてきたが、職員数と



### おおた区議会 ホームページのご案内

ホームページで議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご利用ください。



#### 主な掲載内容

- ・議員紹介
- ・会議日程
- ・本会議の結果
- ・特別委員会の報告書
- ・会議録の検索
- ・決議・意見書
- ・請願・陳情の結果
- ・区議会だより

▼おおた区議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

経費の関係について伺う。  
 ◎行政経営改革により多大な経費が削減されたが、区民ニーズに基づいた確かなサービス提供が重要と考える。  
 ◎新組織では兼務職が多い。違う部署の職員が2人の部長の下で仕事ができるのか。  
 ◎実績、能力、課題解決に適任か等、総合的に判断し配置している。今後も適材適所の考えで能力活用する。  
 △財政の現況と見直し▽  
 ◎財政の見直しを含め、今後の準備をすべきでは。  
 ◎基本計画で、歳入は将来の景気変動等を念頭に置き、歳出は増が予想される行政需要事業費を見込んでいる。  
 △これからの介護施策▽  
 ◎家族介護者に、仕事を辞めても介護を続けられる金銭的支援を考へてはどうか。  
 ◎要介護度4と5の認定者を介護している家族に対し、年16時間のヘルパー派遣を実施する。制度の円滑運営を通じ、負担軽減を図る。

◎介護保険専門部会が区長に介護サービス等多岐に渡り提言しているが実現性は。◎緊急ショートステイ拡充、高齢者ほっとテレフォン、家族介護者支援、施設人材確保育成支援を実施する。  
 ◎羽田空港国際化を契機にまちづくり施策を充実させる。既存事業見直し、経常経費削減で、重点施策に充てる予算編成が重要である。  
 ◎区の小売業を守るには、商店街整備だけでは効果は出せない。即効性のある



区内の商店街

施策を求めるが。  
 ◎繁盛店創出プロジェクト事業を実施し個店支援する。  
 △蒲田・大森・羽田開発▽  
 ◎JR蒲田駅周辺の開発計画であるグランドデザインは形になってきたのか。  
 ◎秋頃にパブリックコメントを実施し、21年度末には素案をまとめる予定である。  
 ◎新空港線「蒲蒲線」に対し区の積極的姿勢が感じられず担当部署が不明確。新空港線を本気で推進すべき。  
 ◎新空港線連携強化のため、

交通企画担当課を設置し、新空港線早期実現に取組む。  
 ◎大森の開発計画と今後の進め方を伺う。  
 ◎グランドデザイン素案策定に取組んでいる。まちづくり協議会や地域の意見も反映させ具体的に計画する。  
 ◎羽田空港から大森駅まで、大田市場、スタジアム等の観光地を通って結ぶ交通手段に本気で取組んでほしい。  
 ◎観光と連携した交通網の充実が重要。空港臨海部基本構想を踏まえ研究する。



平和の森公園

△核兵器廃絶へ区発信を▽  
 ◎国際平和交流都市大田を目指し、区からも「核兵器廃絶をめざす国際交渉を開始せよ」との声を上げよ。  
 ◎1984年平和都市宣言「核兵器のない平和都市であることを宣言する」の方針に沿って今後も対応する。  
 △くらし・営業を守る区政▽  
 ◎党区議団が緊急要望した  
 ◎5月連休対応対策◎中小企業訪問調査・対策◎定額給付金対策◎雇用確保◎保育園待機児解消の具体的支援策が、補正予算として提出されなかった理由は。  
 ◎担当部局で検討した結果今補正予算では対応しない。今後、経済状況や国・都の動向を見て適切に対応する。  
 ◎中小企業存続のため、生活保護等の社会施策ではなく、産業施策で行うべきであり、経済産業大臣が、大田の名前を挙げて動きつつ

ある。区からも休業補償、家賃補助や生活支援など積極的な救済策を国・都に対して強く求めるべき。また、区独自支援策も行うべき。  
 ◎区は、従前より経済産業省、厚生労働省、都と密接な連携で中小企業を支援している。また、融資の金利引下げ等支援策の強化により対応している。  
 ◎都に対して75歳以上高齢者の医療費無料化を求め、区独自支援策も行うべき。  
 ◎医療制度を持続可能にするため、所得に応じた医療費負担が必要である。区独自支援策の考へはない。  
 ◎民間委託や指定管理者制度導入による職員削減はやめ、福祉、保育などが責任を持って進めるべきでは。  
 ◎今後も民間や公益法人の持つ力を十分に活用し、区民サービス向上に努める。  
 ◎区立保育園の民間委託は、親や子どもたちと避けがたい矛盾をつくりだす。区が責任を持って進めるべき。  
 ◎民営化園では、区立では実施していないサービスも提供している。今後も多様な運営主体による機動的、柔軟な保育サービスの提供を目指し、民営化計画は予定通り進める。  
 ◎不要不急の大規模開発は中止し、区民が緊急に求める保育園待機児・特養ホーム待機者解消、中小業者支援等、区民の暮らし、福祉、営業、雇用こそ支援すべき。  
 ◎緊急経済対策等タイムリーな事業を講じている。魅力ある区の未来のため、



荏原病院

不況下の子育て世帯と高齢者の同居確保を  
 大田区議会民主党 都野 圭子  
 △定額給付金について▽  
 ◎給付金事務の委託業者における個人情報管理を伺う。  
 ◎個人情報保護条例に基づき委託契約を締結している。細心の注意を払い、業務終了後、情報は全消去する等、区が責任を持って管理する。  
 ◎高齢者支援について▽  
 ◎都外高齢者未届施設へ区生活保護受給者が移り住んで短期、中長期的な視点を織り交ぜた行政運営が不可欠。  
 △区民施設整備を優先に▽  
 ◎公共建築物整備を優先的に進めるため、公共建築物と都市基盤施設の整備は、それぞれ基金を設け、計画を分けて推進すべき。  
 ◎整備計画を一体とした弾力的な運用こそ、効率・効果的な財政運営につながる。  
 ◎荏原病院の役割発揮を▽  
 ◎荏原病院が公社化されても、都感染症指定医療機関の機能が十分果たせるよう早急に申し入れるべき。  
 ◎機能を十分に果たしていること認識している。  
 ◎制度開始前の11年度末は、6施設、定員560人だったが、現在は11施設、1、320名である。今後も介護施設拡充のため、民間事業者による整備を支援する。  
 ◎基本計画の介護保険施設整備を前倒しで進めるべき。  
 ◎21年度に市場調査を実施して、事業者の積極的参加が可能な施設整備補助等の支援を行う。できるだけ早期の整備をめざす。  
 △子育て支援について▽  
 ◎多面的な支援の一つとして、子育て世帯家賃助成を前向きに検討しては。  
 ◎住宅対策として、区営・区民住宅等の整備に努めている。転居家賃助成は、所得補助の側面をもっており議論が必要である。実施している他区状況やその効果も踏まえ調査研究する。  
 △地域力について▽  
 ◎特別出張所改築にあたり、多種多様なグループが利用できるようにすべきでは。  
 ◎大人数が一堂に会するスペース確保、区分可能な会議室を設置し、地域の協働



特別養護老人ホームたまがわ

や連携づくりに活用する。また、住民説明会等の意見や近隣施設の利用状況を踏まえて、設計に盛り込む。  
 ◎区内の施設確保が困難で新しい活動ができないという声を多く聞く。一方で年間稼働率10%以下の出張所会議室もある。設備を充実させ弾力的に運用しては。  
 ◎施設本来の目的を損なわない範囲で施設機能の充実を図り、区民が利用しやすい施設となるよう努める。  
 ◎多様な区民活動団体に対して地域活動場所を提供できるように、運用のあり方を含めルールを検討する。  
 ◎雪谷特別出張所



雪谷特別出張所

### 区政情報コーナー・図書館で 会議録を閲覧できます

大田区役所本庁舎2階の区政情報コーナーで、会議録をご覧いただくことができます。対象となる会議は、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会です。または、区立図書館で、本会議の会議録をご覧いただくことができます。





# 一般質問

大田区議会公明党 岡元 由美



△Hibワクチン▽

●ワクチンの有効性について、所見を伺う。積極的な接種推奨の考えはあるか。

◎インフルエンザ菌b型や重症の感染症の予防効果が期待できる。

●定期健診になるまで、Hib髄膜炎ワクチンの有効性を保護者に周知すべき。

◎現在任意の予防接種であり区報等では周知していないが、今後乳幼児健診等の場で何らかの周知に努める。

●予防接種は、区の医療費の削減につながる。一日も早く助成制度を創設すべき。

◎現段階で供給量が限られており、希望者の接種も難しい。状況の推移を見て検討する。

△高齢者ほつとテレフォン▽

●4月1日スタートからどの位の相談が寄せられたか。

◎健康や介護サービス利用等の相談があり、件数は、4月44件、5月32件である。

●区代表の留守番電話に、ほつとテレフォンの番号を案内しては。

◎区民周知に大変有効と考へ、検討のうえ実施する。

ご利用ください

## 会議録検索システム

区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。

大田区議会ホームページアドレス  
http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

△空港拡充への自主課税権▽

●区が空港所在地として現に負担している額と、今後の負担規模は。

◎民家防音工事等の事業費が、20年度総額約1億2千万円。うち区の負担は約3千万円。今後の負担規模の具体的な把握はしていない。

●区が空港所在地であることで、国から交付されている財源の種類と金額は。

◎財源の種類は、航空機燃料譲与税で、交付金額は20年度7億5、365万2千円、19年度は、8億4、546万2千円である。

●22年秋の発着枠拡大の中、航空機燃料譲与税の推移の分析・検討について区の所見は。

◎財源となる航空機燃料税は、積載される燃料の多寡で増減するため、発着枠拡大後は増収が見込まれる。

●航空機の排出ガスや交通量の増大など区に与える環境負荷は大きい。法定外税を真剣に検討すべき。

◎区としても、自主課税権活用による新税創設が望ましい。現時点では、課税目的や課税標準、税を手段とするこの是非など課題がある。

△子育て施策の充実を▽

●保育園を希望する子ども数だけ定員が必要。区として方針を持つべき。

◎基本計画の目標に向けて待機児対策等に努め、国や都との的確な役割分担で、充実に図る。

●待機児解消は緊急課題。年度途中で補正予算を組み対応すべき。



大田区議会公明党 松本 洋之

多く、税本来の意義と照らし財源確保を検討する。

△区の観光振興プラン▽

●プランを着実に実施する区の決意を伺う。

◎「住んでよし、訪れてよしのふるさとづくり」をめざして区の魅力を地域の方とともに世界に発信し、活力あるまちづくりを進める。

●国内の来訪者だけでなく、国際的な観光都市としての取組みが、本プランでどう仕込まれているのか。

◎ハードの整備として、区関連部門と連携したサイン計画や回遊性の向上を図る。ソフトの充実としては、21年度から日本政府観光局に登録し、海外への区のPRなどを強化する。

●情報発信の具体的手段として、フィルムコミッションを重点計画に加えてほしい。これまで区関連施設での撮影実績はあるのか。

◎各部署に直接依頼があり、総合的な把握はしていないが、蒲田のまちをはじめ、区内商店街など数多くの場所が撮影地となっている。

日本共産党大田区議団 菅谷 郁恵

△子育て施策の充実を▽

●保育園を希望する子ども数だけ定員が必要。区として方針を持つべき。

◎基本計画の目標に向けて待機児対策等に努め、国や都との的確な役割分担で、充実に図る。

●待機児解消は緊急課題。年度途中で補正予算を組み対応すべき。

大田区議会自民党 海老澤 信吉

△防災・危機管理▽

●防災備蓄物品に運営委員や参集職員も検討すべき。

◎備蓄物品は避難者用と想定しているが、現実的対応として避難所生活者と同様の使用が妥当と考える。備蓄場所の確保も含め明確な仕組みづくりを検討する。

●防災対策のPR活動を地域推進会議や自治会長会等で説明してはどうか。

◎各会議等の活用も視野に入れ、地域の防災力向上のために区民周知を図る。

●誰もが簡単に組立てられる仮設トイレがあるのでは。

◎トイレブースを利用した簡易便器やテント式トイレ、数分で完成する貯留式兼用型下水道直結式トイレを配備している。今後とも、簡便で災害時に機能性の高いトイレを拡充する。

●定年退職者に参加を呼びかけて、初動体制を充実させてはどうか。

◎都が、退職職員のボランティア団体と協力を構築している。今後区

△急増する生活保護世帯▽

●区的生活保護の動向と今後の対策を伺う。

◎対19年度比で世帯数は78%増、保護人員は6.7%増である。様々な支援を行い、非常勤職員の設置を予定している。

●群馬県の「たまゆら」の火災を受け、区及び都外未届有料老人ホームの実態と区の取組みを問う。

◎21年3月末時点で区内127人、区外7人入所している。4月下旬から5月上旬に訪問調査を実施した。△障がい者の就労支援▽

職員OBの活用についても、都の事例を参考に検討する。

△新型インフルエンザ▽

●今後も迅速な情報提供を求め、秋以降の対策について伺う。

◎警察、消防、医療の各関係機関との連絡体制を強化し、庁内業務が混乱しないよう準備する。また、大田区新型インフルエンザ対策行動計画も見直しを図り、感染拡大の防止に努める。

大田区議会自民党 松原 秀典

△多文化共生▽

●新しく来日した外国人に對するコミュニケーション支援は。

◎「大田区日本語教室」を開催し、日本の習慣や地域ルール等、異文化の溝を埋めるよう取り組んでいる。

●「仮称多文化共生推進プラン」はどのようなもので、どう策定されるのか。

◎多文化共生の基本的考え方等を想定、パブリックコメントや懇談会を行う。

△地域力応援基金助成▽

●助成実施を判断する委員の中に一部の地区代表者がいるが公正な判断は可能か。

◎区全体の視点で団体と関係する委員は審査から外す。審査の上で現場の声を反映するために、職員が団体と共に活動してはどうか。

◎地域に出向くほか、採択事業の見学を計画している。必要経費は可能な限り認めるべきだが、経費削減や自立をする気があるか。

◎助成金の情報提供など今



大田区議会民主党 黒川 仁

△地域力応援基金助成▽

●助成実施を判断する委員の中に一部の地区代表者がいるが公正な判断は可能か。

◎区全体の視点で団体と関係する委員は審査から外す。審査の上で現場の声を反映するために、職員が団体と共に活動してはどうか。

◎地域に出向くほか、採択事業の見学を計画している。必要経費は可能な限り認めるべきだが、経費削減や自立をする気があるか。

◎助成金の情報提供など今

△修学旅行の中止・延期▽

●新型インフルエンザにより延期した修学旅行のキャンセル料の扱いは。再実施の割増料金は。

◎キャンセル料は区負担を考えている。再実施による新たな負担は、学校と取扱業者の間で調整している。

大田区議会民主党 黒川 仁

△修学旅行の中止・延期▽

●新型インフルエンザにより延期した修学旅行のキャンセル料の扱いは。再実施の割増料金は。

◎キャンセル料は区負担を考えている。再実施による新たな負担は、学校と取扱業者の間で調整している。

◎助成金の情報提供など今

◎助成金の情報提供など今



後とも自立の応援に努める。

△DV被害者の支援▽

●DV被害者に対して臨時生活給付金を渡すことは当然だが、数の把握とソフト、ハード両面からのきめ細やかな施策充実を求めるが。

◎婦人相談員との日常相談や緊急一時保護事業等で対応するほか啓発にも努める。

△定額給付金▽

●認知症など申請手続きが困難な方への対応を伺う。

◎民生・児童委員やさわやかサポートなど地域の協力や代理申請も可能にする。



日本共産党大田区議団  
和田 正子

△安心の介護保険へ▽

●要介護認定新方式は利用者の生活実態が反映されない。反映する認定審査会に。

◎申請時に具体的な困難状況を調査員や主治医に伝えるよう周知徹底している。

●不足分の介護サービスが区が独自に提供すべき。

◎10月から、要介護度4と5の高齢者の介護世帯に家族支援のため年16時間のヘルパー派遣を実施予定。

●実態と合わない介護判定の改善を国に求めよ。

◎国で新方式を検証しており、区は推移を見守る。



●民間まかせではなく区の責任で特養ホームや認知症グループホーム等の整備を進めよ。

◎市場調査実施で民間業者が参入しやすい環境をつくる。前倒しも考えている。

●小規模特養ホームや高齢者複合施設も建設すべき。

◎基本計画に特養ホーム160床以上を掲げている。

●有料老人ホームのベッド等を借上げ、高齢者緊急シヨートステイを実施すべき。

◎区内特養の2床のほか、21年度から老人保健施設の2床で行っている。

△人材育成にこそ▽

●安心して子どもを生み育て、働き、住み続けたいと願う区民のために、看護師保育士等の職員削減を止め後継者育成を。

◎行財政運営も区民への責務。民間活力の活用など効率的な執行体制に努める。

大田区議会民主党  
森 愛

△環境都市を目指して▽

●地球温暖化対策の推進に関する法律が改正となり区の役割が強化され、自然エネルギーの促進等、国の事業と予算の積極活用を望む。

風力発電を区のものづくり

産業と連携し推進しては。

◎装置の小型化等、区内産業と連携し研究する。

●小水力発電の取組みを東工大とともに進めては。

◎設置場所等、区内産官学との連携も含め研究する。

●区の公用車等工コカー導入状況と今後の考えを伺う。

◎21年度5台導入。エコオフイス推進プラン第三次計画で全庁的に検討する。

△新型インフルエンザ▽

●具体的な症例定義とは。

◎7日以内に感染者と濃厚接触歴を有するか、まん延国に滞在し高熱を発する等。

●秋以降予測される第2波に向け、今後の区の対応は。

◎新型インフルエンザ対策行動計画を見直し、医療機関と協議し体制を整備する。



自由民主党大田区議団  
伊藤 和弘

△多摩川の緑地の駐車場▽

●有料化から2ヶ月間の利用者数ほどの程度か。

◎1日平均で、4月の平日が延べ72台、土日祝日が延べ301・2台、5月の平日が延べ78台、土日祝日が延べ150・8台である。

●平日の管理人件費を伺う。

◎業者委託しており、年間約2,300万円。うち

平日分はおよそ1,300万円、1日当たりの換算で約5万2千円となる。

●人件費のからない機械式パーを設置しては。

◎国土交通省の許可を得るのが難しいが、メリット・デメリットを十分に検討し粘り強く交渉する。

●グラウンド使用料に加え、さらに利用者負担を増やすとはどういう考えなのか。

◎駐車場の維持管理費及び安全対策誘導員や使用料徴収などの人件費がかかるためである。

●草野球を楽しむ区民にとって駐車場の負担は重い。民間出身の区長ならば、その感覚がわかるはず。

◎休みに草野球を楽しむことは明日への活力となり、社会を盛上げる原動力になる。安全に利用する上で一定の制約が必要だが、区民が安心して利用できる空間として活用したい。

●区が考える駐車場整備計画はどのようなものか。

◎多摩川緑地駐車場は、21年度新たに拡張整備を行い合計363台となる。六郷橋緑地駐車場とともに平成22年4月1日から有料化する予定である。

●有料化に向けて、利用者が満足できる整備をしているか。

◎満足いただけるよう配慮している。

●上手に整備してお金がかからない方法を考えるべき。有料化の予定を考え直すつもりはないか。

◎今後、利用実態、利用者の意見を踏まえ、使用料について検討を進める。

△観光客の誘致▽

●羽田の国際化に合わせた観光イベントの計画を伺う。

◎羽田空港国際化記念事業として、国際化1年前の21年10月にキックオフイベントを実施する。そこで区民の国際化意識の醸成をめざしたい。

●イベントに民間のアイデアを取入れては。

◎6月中に公開プロポーザルによる企画提案募集を行う予定である。

区議会大田区民の会  
西村 健志郎

●区の経営的視点と成果は。

◎行政資源を活かし、最小の経費で最大の効果を得ること。業務委託や民営化等によりコスト縮減に努めた。

●投資的経費を削減すべく数値目標を、予算策定及び入札段階の双方で設定せよ。

◎行政経営プランにおける定数管理による行政改革等の各事業計画具体化の中で数値目標も含めて対応する。

●保育園・介護施設の入所待機者解消及び担い手確保、コミュニティバス黒字運用、総合体育館工事契約及び放

置自転車対策での経営的視点にたった具体的取組みは。費用対効果最大へ、入札の公正透明競争性も高める。



大田区議会緑の党  
野呂 恵子

●消費者行政活性化のため消費者団体との連携強化を。

◎区は、積極的に支援し、一層連携を深める。

●消費相談員の正規職員化を検討すべきと考えるが。

◎国の政策や他自治体との均衡も考慮して対応を図る。

●低所得者・要介護高齢者の施設、住宅整備の考えは。

◎調査した未届有料老人ホームや生活保護の実態を検証し、国や都の動向も注視して対応策を検討する。

●関係部局の合同対策チームを立上げ、区全体の課題を打出すべきではないか。

◎高齢福祉を始め生活保護、住宅、防災担当等と緊密に連携し綿密な対応をとる。

# 区民の暮らし (抜粋)



松原忠義区長

△新型インフルエンザ▽

●区民の皆様には、ホームページ等を通じて今後の動向に注意していただくとともに、冷静な対応をお願いしています。引き続き、区民の皆様健康と安心を守り、感染拡大防止に努め適切に情報提供していきます。

△緊急経済対策▽

●厳しい経済環境の中、区は、中小企業向けの融資あっ旋制度の金利を4月以降も大幅に引き下げ、支援を継続しています。

また、商店街での消費拡大のためのプレミアム付き区内共通商品券は、4月22日から販売し、5億5千万円分を完売しています。今後、状況を見極め的確な取り組みを継続します。

定額給付金は、総額50億円を超える振込みを完了し、さらに対応しています。

△おおた未来プラン10年▽

●10か年基本計画「おおた未来プラン10年」のもと、区は新たな未来に向け船出をいたしました。このプランの着実な推進を通し「地域力・国際都市 おおた」の実現に力を尽くします。

△大規模な組織改正▽

●4月1日の改正は、基本構想及び基本計画を着実に実現でき、新しい行政需要に区民視点で応えられる、

区民にわかりやすく利用しやすい組織を目的としています。この趣旨を活かして、今回の改正の効果を最大限に発揮していきます。

△羽田空港の跡地利用等▽

●羽田空港移転問題協議会で、跡地利用を具体化するため「(仮称)羽田空港跡地まちづくり推進計画」の策定を目指すことを確認しました。区においても「羽田空港跡地利用O.T.A基本プラン」を踏まえ、整備計画の検討を進めます。

△区の観光と産業▽

●21年3月に「大田区観光振興プラン」を策定しました。羽田空港国際化に向けた対応を図りつつ、区の魅力を発信し、地域活性化やにぎわい創出を目指します。

同じく3月、「大田区産業振興基本戦略」を策定しました。さらなる区産業の発展を図っていきます。

△緊急少子化対策▽

●安心して出産できる環境をととのえるため国民健康保険の出産育児一時金を42万円に引き上げ出産費用の負担軽減を図ります。

区には、4月1日現在で314名の保育園入園待機児がいます。この解消に向け「待機児解消対策本部」を設置し緊急に講ずるべき待機児解消策を推進します。



## ◎定例会で決まった議案◎

◎は全会一致の議案  
▽は賛成者多数の議案

### 区長提出議案

#### 21年度補正予算

▽一般会計(第1次)  
(7億813万円を増額する。)

#### 条例の一部改正

◎大田区特別区税条例  
(寄附金控除の対象とする  
新たな住宅借入金等特別  
税額控除制度を創設し、  
上場株式等の配当等及び  
保険料に係る延滞金の軽  
減を行う。)

#### 工事請負契約

減を行うほか、規定を整理する。)

▽八幡橋架替工事(その1  
下部工)

(契約金額6億4,575  
万円、契約の相手方、五  
光・池上・栄伸建設工事  
共同企業体)

▽大田区田園調布二丁目付  
近枝線その17工事(下水  
道)

(契約金額1億9,162  
万5千円、契約の相手方  
佐々木・醍醐・松下建設  
工事共同企業体)

▽仮称大田区総合体育館改  
築工事

(契約金額51億90万円、契  
約の相手方、フジタ・幸  
河津・甲田建設工事共  
同企業体)

▽大田区立鶴の木保育園改  
築工事

(契約金額2億8,612  
万5千円、契約の相手方、  
醍醐・永光・蔵王建設工  
事共同企業体)

▽大田区立矢口小学校プ  
ール改築その他工事

(契約金額1億7,325  
万円、契約の相手方、小  
俣・大世建設工事共同企  
業体)

▽仮称大田区総合体育館改  
築電気設備工事

(契約金額7億6,545  
万円、契約の相手方、サ  
ンテック・新星・高田・  
仲村建設工事共同企業  
体)

▽仮称大田区総合体育館改  
築機械設備工事

(契約金額9億6,600  
万円、契約の相手方、朝  
日・装芸・福進建設工事  
共同企業体)

◎城南島三丁目1番6の地  
先から1番7の地先まで  
損害賠償額の決定

◎ごみ収集車による物損事  
故

(賠償金額162万996  
円)

平成20年度大田区繰越明許  
費繰越計算書

(定額給付金給付事業等と  
して110億7,829  
万9千円を20年度から21  
年度に繰越す。)

区が出資する法人の経営状  
況に関する書類

・大田区土地開発公社  
・財団法人大田区文化振興  
協会

・財団法人大田区産業振興  
協会

・蒲田開発事業株式会社  
・財団法人大田区体育協会

・区の義務に属する損害賠償  
額決定に係る専決処分

・20年10月13日のごみ収  
集車による車両損傷事故  
(賠償金額17万9,495  
円)

・21年3月4日のごみ収集  
車による車両損傷事故  
(賠償金額4万円)

・21年3月14日のごみ収集  
車による車両損傷事故  
(賠償金額25万5,152  
円)

## ◎請願・陳情の結果◎

### 今定例会で新規に提出さ れたもの及び継続審査して いたもので結果の出たもの を掲載しています。

かつこ内(継続分は継続  
と表記)は審査結果です。

総務財政委員会

「五輪誘致活動の件」に関  
する陳情(不採択)

・大田区南馬込6丁目マン  
ション計画変更に関する陳  
情ほか同件名1件(不採択)

地域・産業委員会

・伊豆高原庄に関する陳情  
ほか同件名1件(不採択)

・大田区伊豆高原庄の存続  
を求める陳情(不採択)

保健福祉委員会

・米軍横田基地の空域削減  
による羽田空港出発経路の  
変更による、航空機騒音被  
害に関する陳情(継続)

・肺炎球菌予防接種の助成  
に関する陳情(採択)

・肺炎球菌ワクチン予防接  
種の助成に関する陳情(採  
択)

・大田区議会公明党の政務  
調査費の用途に関する陳情  
(不採択)

・会議に伴う食糧費に政務  
調査費をあてることを禁止  
するよう求める陳情(不採  
択)

・大田区議会公明党の政務  
調査費をあてることを禁止  
するよう求める陳情(不採  
択)

・大田区議会公明党の政務  
調査費をあてることを禁止  
するよう求める陳情(不採  
択)

・大田区議会公明党の政務  
調査費をあてることを禁止  
するよう求める陳情(不採  
択)

### 意見が異なった議案に対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対

件名	会派名 所属議員数										結 果	
	大田区議会公明党	大田区議会自民党	自由民主党大田区議団	日本共産党大田区議団	大田区議会民主党	大田区議会緑の党	区議会大田区民の会	自由民主党大田区議会	無所属の会	改革110番		大田区生活者ネットワーク
平成21年度大田区一般会計補正予算(第1次)	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	可決
工 事 請 負 契 約	八幡橋架替工事(その1下部工)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	仮称東糀谷四丁目公園造成工事その1	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
	大田区田園調布一丁目付近枝線その13 工事(下水道)	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
	大田区田園調布二丁目付近枝線その17 工事(下水道)	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
	仮称大田区総合体育館改築工事	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
	大田区立鶴の木保育園改築工事	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
	大田区立矢口小学校プール改築その他工 事	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
仮称大田区総合体育館改築電気設備工事	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
仮称大田区総合体育館改築機械設備工事	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決	



傍聴をお待ちしております。  
本会議の傍聴は本庁舎1階の傍聴  
受付までお問い合わせ。

### 請願・陳情はどなたでも出せます

年月日

大田区議会議長○○○あて

請願者(陳情者)  
住所  
氏名  
電話番号  
紹介議員(陳情には不要)  
○○○○に関する請願(陳情)

請願(陳情)の趣旨

理由

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 請願・陳情の趣旨は、簡潔、明りょうに書き、内容が数種類に及ぶ場合には、それぞれ別の請願・陳情に分けてください。
- 3 請願・陳情者の押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 4 署名簿がある場合は、請願・陳情の後につけてください。
- 5 大田区議会は、原則として請願と陳情を同一に取り扱っています。
- 6 受付は、土、日、休日を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局で行っています。

#### 陳情書を提出される方へ

- 次に該当する陳情は審査されません。
- ①著しく個人、団体等をひぼう、中傷し、名誉棄損、信用失墜のおそれがあるもの
  - ②脅迫、恐喝等、公序良俗に反する用語の使用があるもの
  - ③郵送されたもの
  - ④住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
  - ⑤同一期で概ね一年を経過していない同趣旨のもの
  - ⑥マンション紛争等私人間で解決すべき内容を含むもの
  - ⑦既に願意が達成されていると思われるもの
  - ⑧その他議長が審査になじまないと判断したもの
- 詳しくは議会事務局にお問い合わせください。



## 開発・観光対策特別委員会

＜まちづくりと観光の諸課題についての積極的な取り組みが必要＞

本委員会は、まちづくりと観光政策の融合がいかんして大田の魅力を引き出せるのかを重視し、そのための開発・整備について調査研究を行ってきました。

区を中心拠点として、蒲田駅周辺の開発・整備を考えた場合、第一に、羽田空港の国際化を見据え、多文化交流拠点につながるまちづくりが求められます。観光政策面からとらえますと、餃子など食文化を活かしたまちづくり、ホテル等の民間業者とのタイアップなど、多くの可能性を含んでいるものの、呑川の護岸整備、広告看板への条例整備、サイン整備計画推進など、まちの景観確保が当面の課題となっています。また、ハード面から駅周辺を見据えますと、駅前ターミナルの機能強化、駐輪場の確保、電線類の地中化、J R と連携した東西口の動線確保など課題は少なくありません。

(仮称)大森北一丁目開発は、もう一つの中心拠点である大森駅周辺のにぎわいの一翼を担っており、昨年 12 月に事業契約が締結され、図書館の再開、地域との連携、共生による地域活性化の醸成など早期完成が待たれています。

羽田空港の国際化により、来訪者の増加が見込まれる大田区では、観光にも積極的な取り組みが求められます。こうした中、区は今後 10 年の観光行政の方針となる「大田区観光振興プラン」を策定しました。これは、「知る人ぞ知る魅力」を大切に、世界とつながる生活(イキイキ)観光都市をキーワードに作成されており、このプランによる観光大田の実現が期待されます。



(仮称)大森北一丁目開発 施設外観(予定)  
※今後の検討により、変更になる可能性があります。

区は今年度から蒲田・大森のグランドデザイン策定に着手しますが、この策定事業や観光振興プランの実施、さらに水と緑のネットワーク整備など、これらが区民の声のもとに進められ、まちづくりと観光政策の融合が福祉の向上に寄与されるよう、委員会として更なる調査・研究を行ってまいります。

### 特別委員会 中間報告 (要旨)

平成21年第1回臨時会で報告された内容の要旨です。報告書は区議会ホームページで公開しています。

▼区議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

## 羽田空港対策特別委員会

＜左旋回に伴う航空機騒音の軽減を申入れ＞  
＜羽田空港跡地利用に関する意見書を提出＞

本委員会は、羽田空港の空港機能、跡地利用、空港周辺及び臨海部に関する事業等について、調査研究を行ってきました。

区は、来年秋の再拡張事業完成を前に、「羽田空港跡地利用 OTA プラン」を策定し、市街地に最も近い天空橋駅を中心とした区域の土地利用の基本的な考え方を示しました。

区の実現につながる土地利用を図るためにも、プランの実現過程においては、委員会や区民等、様々な立場からなされる意見を施策立案の参考にし、基盤整備等の残された諸課題を早期に解決していくことが区に求められています。

A滑走路北側離陸左旋回に伴う騒音は、当初の測定予測を超え、空港周辺の住民に騒音被害を与えています。とりわけ、(株)日本航空インターナショナルの機材によるものは、他社と比較して突出した騒音数値となっております。本委員会では、これを看過することのできない重大な問題であると認識し、同社に対しては、騒音軽減の申入れ書を、また、監督官庁である国土交通省に対しては、同社への特段の指導を求める要望書を提出いたしました。

跡地については、東京都が一括して取得することを前提とする旨の確認書が当時の運輸省と東京都の間で取り交わされているにも関わらず、その後、両者間では、取得方法や時期などの具体的な協議が行われておりません。そのため、本委員会は確認書に基づく跡地の一括取得、早期の意思表示、区の跡地利用の実現に向けた財政的支援を行うことを記載した「羽田空港跡地利用に関する意見書」の議案を提出し、議決を経て、議会の総意として、東京都あてに提出しました。



写真左上：22年10月供用開始予定のD滑走路  
写真右下：羽田空港跡地(約53ha)  
※羽田空港跡地利用基本計画より転載

本委員会は、再拡張事業による空港機能の拡大、跡地利用の具体化、騒音被害などの重大かつ緊急な対応が求められる多岐の課題に対し、今後も国や都に対して地元住民の思いを代弁し、その実現を目指してまいります。

## 交通問題調査特別委員会

＜京急沿線まちづくり、地域意見調整を強く要望＞  
＜地域活性化につながる交通網整備が必要＞

本委員会は、京浜急行線連続立体交差事業の推進及び区民にとって安全で快適な生活基盤としての交通体系の整備に向けて、調査研究を行ってきました。

京浜急行線本線及び空港線は国道15号線や環状8号線など、多くの道路と平面交差しています。慢性的な交通渋滞を引き起こし、長年、大田区



京浜急行連続立体交差事業(京急蒲田駅付近)

における交通問題の最大の課題でありました。このため、京浜急行を高架化し、既存踏切の除却、高架下の有効活用、駅のバリアフリー化、関連側道の整備が進められています。

この事業は、東京都、大田区、京浜急行電鉄株式会社が共同事業者で、高架化完成は平成 24 年度、関連側道等、道路事業整備も含めた事業完了予定は平成 26 年度となっています。

また、京浜急行沿線のまちづくり事業について、区は連立事業をその契機ととらえ、駅前空間の面的な整備等の計画を地域とともに推進しています。

京急蒲田駅西口では、市街地再開発準備組合から都市計画素案の提出と同時に都市計画決定の要請がされ、平成 21 年 4 月 30 日に決定に至っています。

糀谷駅については、平成 20 年 3 月に都市計画決定がなされましたが、陳情を提出した反対する地元住民と粘り強く話し合いを行い、再開発計画を推進していくよう、区に強く要望しました。

次に、コミュニティバスです。平成 20 年 5 月に 3 地区よりモデル事業地域に決定した矢口地区では、地域検討会と作業部会が組織され、バスの車両数、ルートや運行間隔、運賃、地域の協力体制などの検討を重ねてきました。区も、運行支援として、バスの購入補助、運行環境の整備などを行い、今まさに試行運行のスタートラインが見えてきています。

快適な交通環境の整備は、快適なまちづくりの基本です。将来を見据えた、交通網整備、まちづくりが積極的に推進されるよう、更なる調査・研究を行ってまいります。

## 防災・安全対策特別委員会

＜地域が主体となる防災・防犯体制の推進が重要＞

本委員会は、自然災害や犯罪から区民の生命・財産を守り、区民が安全・安心に暮らせるまちづくりを実現するため、多岐にわたり調査研究を行ってきました。

突発的に起こりうる災害に対し、被害を最小限に抑えていくには、区民の防災意識、防災知識そして地域の防災行動力の向上とともに、区の支援協力体制が必要とされます。

平成 20 年度の総合防災訓練は、地域行政センター単位で実施され、中でも矢口中学校での訓練では、1,100 人もの参加がありました。この地区は人口が急増した地域で、新旧住民間の防災上の連携強化が求められていましたが、訓練には近年建設されたマンション住民からも多数参加がありました。このように、地域の特性や実情を反映し、地域の課題を抽出した訓練内容が求められます。

また、職員防災訓練は抜き打ち参集訓練として行われました。実際の災害時には、職員参集の困難が予想され、そのような場合でも避難所を開設できる態勢の再整備が求められます。

平成 20 年 10 月、大阪の個室ビデオ店で発生した火災を受け、区は個室ビデオ、ネットカフェ等に対し立入調査を実施しました。その結果、階段の防火区画、非常時の照明等に不備がみられたとの報告がありました。

今後もネットカフェや個室ビデオの利用者は増加すると予想されますが、施設改善は早期に求められており、消防と一体になった区の粘り強く厳しい指導が望まれます。

防災・防犯に対して最も必要とされるものは“情報”といえます。

区では区民安全・安心メールサービスに水防情報の追加、防災行政無線のデジタル化など、防災・防犯情報の確保・伝達の整備をさらに進めています。

防災・防犯に対し備えすぎることには決してありません。委員会は、安全・安心のまちづくりという命題に対し、今後も多様な観点からの調査・研究を行ってまいります。



矢口中学校における防災訓練



# 議場の略図と議席

[平成21年7月1日現在]

**公明**：大田区議会公明党  
5744-1488

**大田自民**：大田区議会自民党  
5744-1469

**自民**：自由民主党大田区議団  
5744-1480

**共産**：日本共産党大田区議団  
5744-1477

**民主**：大田区議会民主党  
5744-1475

**緑**：大田区議会緑の党  
5744-1479

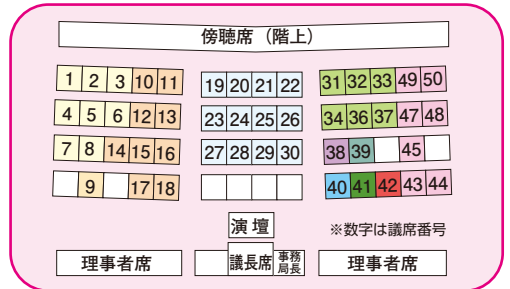
**区民の会**：区議会大田区民の会  
5744-1476

**自民大田**：自由民主党大田区議会  
5744-1617

**無所属**：無所属の会  
5744-1478

**改革**：改革110番  
5744-1672

**ネット**：大田生活者ネットワーク  
5744-1673




※黒沼良光議員(日本共産党大田区議団)は、平成21年6月17日付けで退職しました。

## 第9回平和祈念コンサート開催

8月15日(土) 開演 13:00 (12:15 開場)

主催 大田区議会全議員による「平和祈念コンサート実行委員会」

会場 大田区民ホール アプリコ大ホール  
●最寄駅：JR 京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分



### 出演・曲目

- ♪近藤 嘉宏 (ピアノ)  
ショパン：英雄ポロネーズ、別れの曲ほか
- ♪姜 建華 (二胡) ラストエンペラーほか
- ♪福居 一太 (津軽三味線) 津軽じょんから節ほか
- ♪レディースオーケストラ flumus

全席指定：2,000円

- チケットの申込みは各窓口まで
- ▶ アプリコ ☎ 5744-1600
  - ▶ 区民プラザ ☎ 3750-1611
  - ▶ 文化の森 ☎ 3772-0700

※区議会議員も販売を受け付けています。

- 車いす席有り (介添人は無料)
  - 無料保育有り (8月7日までに問合先へ電話)
- 問合先 実行委員会事務局 ☎ 5744-1640  
議会事務局庶務係 ☎ 5744-1472

2009年 8月15日(土) 13:00 開演 (12:15 開場)  
アプリコ大ホール  
入場料：全席 2,000円 (消費税別)  
チケット発売：大田区民ホール・アプリコ 池上プラザ・文化の森  
※要予約 (中学生・高校生)

カンボジアに学校をつくろう!!  
カンボジアの子どもたちへの教育支援  
主催 大田区議会全議員による「平和祈念コンサート実行委員会」  
実行委員会事務局 TEL: 03-5744-1640